

第4回桑の日フェスタ！開催

桑の日フェスタは、県内の桑生産者や加工業者らで組織するかごしま桑振興会が、桑の魅力を広く知ってもらおうと毎年この時期に開催しており、今年で4回目を迎えました。イベントでは「桑のある風景」をテーマにした絵画コンクールの表彰式の後、鹿児島沖洲会が琉球舞踊を披露しました。会場では、知名町産のシマ桑粉末を使用した桑茶の試飲のほか、振興会会員の桑製品の販売やかじはらプリンとコラボした桑の葉や



果実を使った限定プリンの販売、絵画コンクールに出展された絵の展示などがありました。カイクとふれあうコーナーでは、本物のカイクを初めて見た子どもたちが手のひらにのせたり、繭をつまんだりしながら桑の葉を食べるカイクを興味深そうに観察していました。また、昨年から行われている龍桜高校モードビジネス科の学生による、シルクのクリームを使ったハンドエステや学生の手作り衣装ファッションショーなども開催され、多くの方の注目を集めていました。桑についてまだまだ知名度が低いですが、桑の葉には糖の吸収を抑制すると言われる桑特有の成分をはじめ

め、たんぱく質や食物繊維、カルシウムやカリウム等のミネラル、ビタミン類やポリフェノール等、さまざまな成分が含まれています。桑やシルクの持つ驚くべき効能が注目され、県内の生産農家も年々増加しています。今回参加した知名町シマ桑生産組合の方は、他の地域の生産者と情報交換をする良い機会となり、栽培だけでなく直接消費者と接することが重要だと感じていました。安心・安全で、体に良い桑を栽培する農家が増え、鹿児島の桑が盛り上がるように、これからも様々なイベントを通じてPRしていきたいと思っています。



所長 元栄 吉治

話題の本、入荷しました!

『今日が人生最後の日だと思って生きなさい』

小澤 竹俊／著 アスコム

もし今日が人生最後の日だとしたら、あなたはどうか生きていますか？ 仕事に全力を注ぎますか？ それとも愛する家族とともに過ごしますか？ 2800人を看取ったホスピス医が、人生にとって大切なことを教えます。



『あまみの甘みあまみの香り』

鯨本 あつこ／著 西日本出版社

離島経済新聞社の名物編集長と島酒担当記者が綴る、奄美群島5島と奄美の島酒をめぐるイラスト満載のほろ酔い旅エッセイ。奄美黒糖焼酎の作り方、歴史はもちろん、マメ知識、全蔵の情報も収録する。

問 町立図書館 電話(93)4356

<http://www3.town.china.lg.jp/index.html>

